事例No.	832
公表年度	H30
団体の属性	一般市
団体名	新潟県長岡市

事例区分	DX

タグ	・RPA ・（行政改革）業務の効率化 ・組織改革

事例種類	RPA

事例内容・タイトル

自治体業務へのRPA導入スキームの構築

出典

地方自治体におけるAI・ロボティクスの活用事例

自治体業務へのＲＰＡ導入スキームの構築（新潟県長岡市）

実証実験

○ RPA（Robotic Process Automation）を活用し、**９課で試験導入**を行った。
○ ２ヶ月のシナリオ作成期間で、**６課25業務**で**計2,028時間/年**もの業務時間削減効果が得られた。
○ **原課職員自らシナリオ作成**でき、さらには自発的なRPA化も起こり、現場に即した業務改善につながった。

課　題

○ 他市での事例と同じように自動化できる可能性は案外低く、対象業務は自分たちで探さなければいけない。
○ **RPAが業務改革に有用であることは認識しているものの**、どの業務に導入できるのか、導入スキームをどうするか、費用対効果は見込めるか、について考えると**導入に二の足**を踏んでしまう。
○ 「システム構築に比べ安価な汎用ソフトである」「職員がシナリオを作成できる」といった特性を活かした導入（これまで**システム化できなかったような小規模業務への導入**など）を模索できないか。

取　組

○ 試験導入に際しては、**業務に携わる原課職員がシナリオを作成**することを基本として、情シス部門職員やSEが適宜補助する体制で実施。
○ 対象課は、導入の核になることが見込める中規模(大規模ではない)業務があり、かつ**PC操作に親和性のある若手職員**が在籍する課を選定。
○ 試験導入にあたっては、核となる業務のRPA化だけでなく、各課でRPA化できそうな業務を見つけてもらい、**自発的なシナリオ作りを促す。**



▲実際に導入に携わった職員が報告する場を設け、全庁に啓発

成　果

○ 約２ヶ月のシナリオ作成期間で、９課のうち**６課の25業務で実用化の目処**が立ち、**合計2,028時間/年もの業務時間削減**を見込めることが判った。また、**時間外勤務の減少**や**事務の正確性の担保**などのメリットを実感できた。
○ 適切な技術支援があれば、**原課職員が直接シナリオを作ることができ**、さらには原課職員がRPAに合わせた業務フローの見直しを行ったり、部分的な導入でも大きな効果を見込めるアイデアが出るなど、**現場に即した業務改善につながった。**